

⑤ 史実解き明かし入門～「教科書の日本史」を原典史料に見る～

学校の日本史で教わるさまざまな史実。一つ一つにどんな証拠があって明らかとなったのか？再検討や批判の余地はないのか？本講座では、古代・中世のよく知られた話題をとりあげて、原典史料を使って史実を解き明かすプロセスを学びます。素人的な歴史趣味にとどまることなく、プロの作法や目線を身に付けて、一步踏みだしてみませんか？

- 【日 程】 2月10日（土）～ 3月3日（土） 14：00～16：00
- 【会 場】 幸栄公民館 会議室2号
- 【定 員】 40人 （応募者多数の場合には抽選となります）
- 【受 講 料】 無料

第1回 2月10日（土）	<p>奈良時代の土地支配 - 法令の原文と実態 -</p> <p>班田収授法、墾田永年私財法など、実際にはどんな史料にどのように記されているのか？また、世の中がその規則どおりに動いたのか？古代史研究の定石を体験します。</p>	埼玉学園大学 人間学部教授 湯浅 吉美
第2回 2月17日（土）	<p>藤原道長の栄華 - 公家日記の行間を読む -</p> <p>「この世をば わが世とぞ思ふ」と豪語した道長。この言葉は実際どのような状況で発せられたのか？周囲の人々の反応は？貴族たちの日記を覗き見します。</p>	
第3回 2月24日（土）	<p>荘園の支配と地頭の横暴 - 領家は荘園由来の地名 -</p> <p>少なくとも三段階の支配権が重層するのがふつうであった荘園支配のあり方や、横暴の限りを尽くした地頭らの行為などナマの史料によって中世農園を読み解きます。</p>	
第4回 3月 3日（土）	<p>源平の合戦 - 史料の使い方を考える -</p> <p>合戦というのは正確な情報が最も伝わりにくい状況の一つです。鎌倉幕府の正史『吾妻鏡』と文学作品である『平家物語』など、複数史料の記述を比べてみます。</p>	

【募集期間】 1月 5日（金）～1月19日（金） 消印有効

【申込方法】 往復はがきにて、郵送でお申込みください。

（記入方法につきましては2ページを参照）



幸栄公民館

所在地：川口市幸町3-8-33
 交通：JR川口駅東口から徒歩5分
 問合せ先：川口市教育委員会 生涯学習課
 電話：048-259-7655
 ※公共の交通機関でお越しください。